

「学ぶ自由」 大学 薬学部 3 学年

奨学金という制度に出会うまで、私にとって「学ぶこと」は、常に経済的な不安と隣り合わせのものでした。高校までは、塾に通うことや参考書を買うことさえ、家計に大きな負担をかけるのではないかと遠慮してしまうことがありました。しかし、大学進学を前に、将来の夢を諦めたくないという強い思いから、この制度を利用することを決意しました。そして、その選択が、私の学生生活を大きく変えてくれました。

奨学金のおかげで、私は学費の心配から解放され、心置きなく学業に専念できるようになりました。授業が終わった後もアルバイトに追われることなく、学校で遅くまで勉強する時間を十分に取れるようになりました。また、3 年間 1 度も単位を落とすことなく勉学に進むことができました。これは、奨学金が経済的支援ではなく、私の「学ぶ自由」を守ってくれているのだと実感する瞬間でした。

私がこうして充実した学校生活を送れているのは、奨学金という形で私の未来を信じ、応援してくださる方々のおかげです。この制度があるからこそ、経済的な理由で学びを諦めることなく、自分の可能性を広げることができているのです。この感謝の気持ちを忘れず、将来は社会に出て、この恩を何らかの形で返していきたいと考えています。今はまだ小さな一歩かもしれませんが、この学び舎で培った知識と経験を力に、社会に貢献できる人間へと成長することが、私にできる最大の恩返しだと感じています。